

鹿児島市立八幡小学校の研究（中間報告）

鹿児島市立八幡小学校

（１）研究主題設定の理由

平成23年度からの新学習指導要領全面実施にともなう道德教育の推進と、過程や地域社会との連携を図りながら、体験活動等を生かした心に響く道德教育を推進するための実践的な取組を推進するため、本校では研究テーマを「道德的实践力を育む総合単元的な道德教育のあり方」と設定し、今年度より研究をすすめている。

本校では、過去10年、教科におけるテーマ研修を行い、授業力を高め合い、児童の基礎学力の向上を図ってきた。事実、児童の学力は高いものの、他者に対して無関心であったり規範意識が低かったりという実態がある。

そこで、道德の時間を要とした指導法の改善を図ることで児童の道德的価値を高め、教育活動全体を通じて指導を行い、それらを学校と家庭、さらには地域社会との共通理解を深めるなど相互の連携を深めることによって、児童の道德実践力を高める必要があると考えた。

（２）研究の仮説とその構想

【研究の仮説1】（道德の時間の授業）

道德の時間において、道德的価値の自覚を深める指導方法の工夫を図ることにより、道德的判断力を培い、道德的心情を豊かにすることができるであろう。

【仮説1に関する研究の視点と内容】

- ① **指導内容の重点化**…学校重点目標と学年部の重点目標をふまえ、内容項目間の関連を考慮したうえで指導計画を見直し、授業の改善を図る。
低学年…挨拶などの基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしないこと
中学年…集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合う態度を身に付けること
高学年…法やきまりの意義を理解すること、相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付けること、集団における役割と責任を果たすこと、国家・社会の一員としての自覚をもつこと
- ② **指導体制の工夫**…校長、教頭、保護者、地域住民等を活用した授業の展開を行い、チームティーチングなどを積極的に進める。また、教材の準備、掲示物・道德コーナーの充実など環境面を整える。
- ③ **体験活動を生かした指導法**…各教科や特別活動、総合的な学習の時間、宿泊学習等の体験活動を生かし関連付ける授業の展開
- ④ **言語活動の充実**…自分の考えをもとに、書いたり話し合ったりするなどの表現する機会を充実し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できるように工夫する。自己内対話、一単位時間の中での成長の実感、長期的な成長の実感として。→道德ノートの見直しと有効活用。価値葛藤の変化をたどる授業ではなく、中心発問にしばった授業（そのためには読解力が必要）。
- ⑤ **評価の研究**…各種アンケート、児童の実践の様子、道德ノートとの関連、共感的理解による評価（継続的な観察や会話、作文や日記、質問紙、面接・教育相談）→個に応じた指導・学級全体の指導に生かす工夫）

- 学校教育目標と学年目標、道徳の重点化の見直し…教育課程、学年経営案、学級経営案について
 - 児童・保護者の実態調査を分析した。重点化を見直し、道徳の全体計画を見直す。
- 指導案形式を作成。
 - 指導案の中に事前・事中・事後、言語活動、評価の項目を入れていく。
- 体験活動や言語活動を取り入れることによる自覚化の深化
- 評価の研究…検討課題
- 常時、学級・学年に道徳コーナーを設け、設営を進めていく。
- ◇ 「評価」という文言は難しい（指導要領に明記されているが）。「変容」程度の文言でやっていく。
- ◇ 魅力的な教材開発を行う。そのために、夏季休業中に読んでみてやりにくいものを削除し、代わりになるものを見つける。また、オリジナル資料を作成してみる。
- ◇ 道徳ノートは、保護者との連携をしたいのなら、入れた方がよいのではないか。また、ふり返りの活動も朝の活動等でできるのではないか。
- ◇ チームティーチングでの授業を行った。
- ◇ 本年度は、1人1本の授業研究を行っている。それから見える課題を把握していく。

【研究の仮説2】（総合単元的な展開）

特別活動やその他の教育活動において、道徳との関連をより深めることにより、道徳的態度や道徳的実践意欲の向上を図ることができるであろう。

【仮説2に関する研究の視点と内容】

- ① **話し合い活動の充実（学級活動）**…学級や学校としての課題や問題について全員で話し合い決定して全員で取り組む活動、共通した個人的な課題や問題について話し合い、自分で決定して自分で取り組む活動（道徳の価値項目と関連付けて）
 - ② **特別活動における実践の工夫（児童会活動）**…主として委員会活動において自発的・自主的活動ができるようにするために、委員会と係活動を連携・連動させ、所属感を高めさせる。→別紙 残食調査や本の破損状況、保健室状況、電気使用量等の調査。
 - ③ **生徒指導との関連**…生徒指導をとおして、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、道徳的習慣を身に付けさせる。あいさつ、交通安全、ぼうし・ネーム、落とし物、靴・トイレのスリッパの整頓、ろう下歩行、無言清掃、「ありがとう」「すごいね」…
 - ④ **ボランティア活動の充実**…高学年のボランティア活動の姿を称賛し、中学年、低学年においても朝の活動で実践していく。高学年が1，2年生教室で声かけ。
 - ⑤ **人間関係づくり**…人権同和教育の観点に立ち、一人一人が大事にされる学級づくり。教師と子どもとの信頼関係づくり。学級内の仲間づくりのための実践（昼休みや学級活動等）。帰りの会での実践紹介（〇〇さんのすごいところ）。
- ※ やることが当たり前ではなく、やっていることはすごいことなんだと実感させる。

- （全体計画をもとに、重点化を生かし、）各教科や行事等の体験活動と関連付けを図った年間指導計画の作成（夏季休業中）を行った。
 - 詳しく作成するために、事前・事中（授業）・事後指導、言語活動の項目を設ける。
- 特別活動を生かした実践
 - 児童会活動と学級活動の連携→学級会の話し合い
- 各教科を生かした実践
 - 理科の授業で生命尊重や自然愛護、敬虔等が表出される授業展開（例）

- 総合的な学習の時間を生かした実践
自己の生き方を見つめる半成人式（例）
- 体験活動を生かした実践
宿泊学習を通して自然愛，創意・進取，生活習慣，思慮・反省等が表出される授業展開（例）
- 生徒指導を生かした実践
基本的な生活習慣のふり返り…月目標を重点事項として解決策を学級会で話し合ったり児童会で話し合ったり…（例）
※ （例）と表示してあるのは，まだ，未定の部分。
※ 2学期以降に，道徳実践力を高めることができる実践計画を立てる。
- ◇ データに道徳教育全体計画（別葉）を作成した。（横軸が0にならないよう）
- ◇ 別葉を作成した後，年間指導計画を作成していく。体験活動や行事，事後指導につなげるための配列を3学期に見直す。重点事項の価値項目を3回配置すること。

【研究の仮説3】（家庭や地域との連携）

家庭や地域において，ともに学び，ともに実践していく方策をとることにより，道徳的習慣を身に付け道徳的実践力を育むことができるであろう。

【仮説3に関する研究の視点と内容】

- ① **取組の共通理解**…学級通信による道徳の授業の紹介。家庭に実践が広がるように子どもの変容や感想等。
 - ② **共通実践や協力の要請**…家庭や地域での事後指導を共通実践してもらおう。家庭内一人一役の設定や生活リズム表の活用・1週間をふり返る家族団らんの設定等。あいご会における高学年の積極的自治活動と縦割り集団の活性化・地域行事の参画。
 - ③ **双方向からの情報発信**…家庭や地域へ道徳だよりの発信→家庭・地域からの情報を収集するための欄を設定する…実態，課題，実践等→受信。保護者の思いや願いを授業に反映させる（アンケート等実施して）。連絡帳等での情報交換。
 - ④ **家庭や地域とともに学ぶ場**…学級PTAで子どもの実態を理解し，その解決に向けた話し合い（学校での様子，家での様子）。学年PTAの学年目標・努力点月別活動計画と結びつけ，それに対する話し合い。今ある組織を有効活用する（校区公民館運営審議会，八幡校区振興会等）。
 - ⑤ **道徳の公開授業**…公開を通して，保護者の道徳に対する関心を高めてもらい，家庭・地域で実践できるように促す。親子で学ぶ，話し合う。
- ※ 課題や問題点ばかりでなく，子どもの変容や成長ぶりを称賛し合うように仕向ける。

- 道徳だより
月1回の発行。各担任から情報をもらい，道徳推進教師が作成。
- 学級通信
常時，掲載することによって道徳の授業の様子を伝える。また，そのことに関する保護者からのコメント等もらう。
- 道徳ノートを生かした「道徳の日」親子でふり返る
月に一回設定し，親子で話し合ってみる等（案）→まだ，していない。
- 学級PTAの話し合いのあり方
- 校区公民館運営審議会，八幡校区振興会との連携のあり方（2学期以降）
- 11月の県民週間で，地域人材を取り入れた道徳の授業の計画（2学期）
※ 家庭に返す，地域を生かす，ともに実践していく。そのための方策を練る。とにかく，保護者地域を巻き込んでいく体制づくり。

